

令和4年度 「横浜市交通安全運動実施計画」

1 趣旨

令和3年中の横浜市内における人身交通事故は、発生件数7,883件(前年比+485件)、負傷者数8,997人(前年比+529人)と、前年に比べ発生件数、負傷者数ともに増加しました。

交通事故死者数は、統計開始以来最少の36人(前年比-12人)であったものの、依然として多くの尊い命が失われています。交通事故で亡くなられた方の状態別では、歩行中が15人、二輪車乗車中が11人と次いでおり、歩行者、二輪車が関係する交通事故が高い割合を占めているほか、年齢別では65歳以上の高齢者が関係するものが18人と半数を占めています。

こうした交通事故の発生傾向を踏まえ、令和4年度は令和3年度交通安全実施計画で定めた、「令和3年から令和7年までの5年間で年間死者45人以下」を目標に、関係機関・団体の皆様とともに、「市民の交通安全意識の高揚」と、「交通事故のない安全で住みよい街よこはまの実現」を目指した運動を計画的、効果的に推進します。

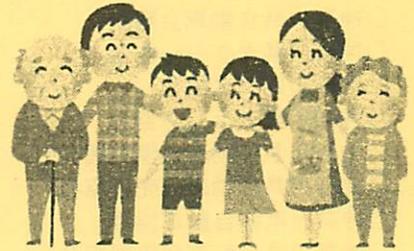
そのため、交通安全は市民一人ひとりの心がけと実践によって実現されるものであることを強く訴えてまいります。

2 年間スローガン

「安全は 心と時間の ゆとりから」

3 重点事項

- (1) 横断歩道における歩行者優先の徹底
- (2) 二輪車・自転車の交通事故防止
- (3) 高齢者と子どもの交通事故防止
- (4) 飲酒運転の根絶



4 活動推進

- (1) 夕暮れ時の前照灯の早め点灯と走行用前照灯(ハイビーム)の効果的活用
- (2) 違法駐車及び放置自転車・バイクの追放
- (3) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (4) 踏切道における交通事故防止
- (5) 暴走族の追放



5 年間運動

- (1) 各季の運動 (※上記重点事項、活動推進を網羅して包括的に取り組む交通安全運動です。)

名称	実施期間	目的(詳細は実施要綱にて定めます。)
春の全国交通安全運動 交通事故死ゼロを目指す日	4月6日(水) ～15日(金) 4月10日(日)	すべての市民を交通事故から守るために、市民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールを守り、交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。
夏の交通事故防止運動	7月11日(月) ～20日(水)	夏のレジャーなどに起因する過労運転や夏特有の解放感による二輪車を含む無謀運転などによる交通事故の防止を図ります。
秋の全国交通安全運動 交通事故死ゼロを目指す日	9月21日(水) ～30日(金) 9月30日(金)	日の出時刻が徐々に遅くなり、また日没時刻が徐々に早くなることから、早朝、夕暮れ時と夜間の交通事故防止対策を中心とした交通事故防止の徹底を図ります。
年末の交通事故防止運動	12月11日(日) ～20日(火)	年末に向けて飲酒の機会や交通量が増加する傾向にあることから、飲酒運転根絶を中心とした交通事故防止を図ります。